

## 会 議 録

会議名 (協議会等名)		令和4年度第2回大沼公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		大沼公民館 電話042-744-7722 (直通)		
開催日時		令和4年9月15日(木) 午後7時～8時30分		
出席者	委員	21人中16人出席(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	4人(館長代理、外3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		(1) 事業報告及び今後の事業について (2) スポーツ・レクリエーション事業について (3) 第25回大沼公民館まつりについて (4) 第31回大沼子どもまつりについて (5) 視察研修について		

## 協 議 の 要 旨

主な内容は、次のとおり。(○は委員、●は事務局)

### 1 あいさつ (会長)

### 2 議題

#### (1) 事業報告及び今後の事業について

各専門部の事業について、委員(専門部部長等)から説明を行った。

○7月に卓球大会を実施。大沼小学校の体育館で実施する予定だったが、館長からのアドバイスがあり、熱中症で倒れる人がでる危険があることから冷房のある公民館で実施した。7チーム51名が参加した。来年も夏に実施するかは、アンケートを実施して、検討する。

ファミリーバドミントン講習会は、残念ながら参加者2名であった。相模原市が推進しているニュースポーツで、他の公民館では盛んだが、残念ながら大沼ではあまり盛んではない。新しい体育部員でファミリーバドミントンを知らない人がおり、体育部員9名+参加者2名の計11名で練習や試合形式で行い、十分楽しめた。2年後には、市の推進が終わり、新しいスポーツとなるので、体育部としても市が推進する新しいスポーツが決まり次第、普及を進めていきたい。

11月6日には、グラウンドゴルフ大会を実施する予定。

○7月17日に文化講座「相模原市とミシマサイコについて」を開催し、19名が参加した。絶滅危惧種になっている植物で、大変興味深い話が聞けた。講座の後、公民館の花壇に5株植えている。私自身自宅でも1株育てている。雑草だが、か弱い。他にも絶滅している植物もあるので、次のテーマとして考えていきたい。

9月4日大沼シネマⅡを実施。洋画→邦画の順で行っている。大変おもしろい内容であった。続深夜食堂もあるので、今後検討したい。

11月13日に歴史講座「相模原の武士団横山党」を開催予定。チラシをみていただきたい。有意義なお話が聞けると思う。

○7月24日にセミの羽化観察をした。やっと子どもを集めて事業をすることができるようになった。応募が20数家族あったが、コロナ感染防止のため、4家族に絞って行った。断った方々には申し訳なかった。今年はセミが少なく、参加した子どもがセミを見つけた。青白くてすごくきれいで、じっくり観察することができ、よい観察教室になった。専門家の先生にも来ていただき、説明をしていただいた。例年続けていた事業でやっとできた。

8月20日、夏休み最後の土曜日に塩ビ管で水でっぼうを作り、若沼ふれあい広場で遊んだ。最初はバケツに水がどれくらい溜まるかを行い、最後は7対

7に分かれて、水の掛け合いをした。すごく盛り上がった。1年生～6年生がバランスよく参加して、6年生がいつの間にかリーダーシップをとってまとめている。大人も一緒にやろうとしたが、入らなくて良いと断られてしまった。着替えを持ってこなかった子がいたが、暑いためすぐに乾き、濡れても大丈夫だった。皆、熱心で、楽しく遊べてよかった。

11月の大沼子どもまつり、12月のクリスマスのつどいは、飾りとともに子どもを集めて遊びたい。2月も事業を行う予定で、コロナの感染状況をみながら、どのような事業にするか決める。

○10月1日号は事業結果を少しずつだが、全て掲載したので見ていただきたい。「おおぬま点描」が55話となり、今号は国道16号について書いた。

次号の発行は12月1日。今年、急に年4回の発行となったため、発行日が12月1日となった。12月1日は今まで発行したことがなかったので、掲載内容についていろいろと考えないといけない。皆さん良い案ありましたらお寄せください。

#### ●協力事業について説明

けやき学級は2年間コロナでできなかったが、今年は全9回で開催している。大会議室で歌を歌ったり、今日は市博物館学芸員に来ていただいて話を聞いた。10月には社会見学で深大寺と府中市郷土の森へ行く。準備担当の方は、午前8時30分前から来館していて、公民館が開くのを待っている程、一生懸命協力いただいている。

大野中地区ふるさとまつりは、前回の運協と同時刻にふるさとまつり実行委員会役員会があり、中止となった。

前回の運協で了解をいただいた自主企画提案事業の事業内容を説明。

○昨年度全事業が中止だったが、少しずつ事業ができるようになった感じがする。ガイドラインに沿って行っており、大きくは3つある。①参加者が特定できる。②対人距離を最低1メートル。できれば2メートル。③飲食が必要な場合には黙食。模擬店で作って売るのはしばらく出来ない。

#### (2) スポーツ・レクリエーション事業について

○体育祭に替わる事業として実施。体育祭は、高齢化などもあり、各自治会で選手集めが困難なため、体育祭に替わるものを2年前から考えていた。今年やっと実現ができる。コロナ感染の関係もあり、人数を絞り、定員60名で実施予定。2部制で、1部は平岡先生による体操教室。2部は体力測定またはノルディックウォーキングに参加。現在参加申込者は30名だが、未だ回覧が回っていないところがあるので、参加者が増えるのではないかと考えている。来年以降、体験教室という形で地域スポーツの団体の部員集めとしても利用してい

いかと個人的には思っている。コロナの影響がなければ、一般参加として募集できる。

### (3) 第25回大沼公民館まつりについて

初めに館長より説明を行った。

公民館まつりは、令和2年度はコロナで中止。3年度は大会議室を会場として作品を展示し、秋の文化展のような感じで実施した。公民館まつりについての意見があったので、過去の館報を調べてまとめた。最初は文化祭、平成になり、公民館まつりと名称が変わった。地域の住民も若く、週をはさんで5日間行っていた頃もあった。最初は文化祭が主体で行い、平成になって各サークルから実行委員を出し、公民館まつりと名称を変え、実行委員会形式で実施。サークルの作品展示、活動の発表を行っていた。

今まで、専門部の活動紹介は、広報部を除き行っていなかった。地域の皆さんに専門部が何をやっているのか情報が足りなかった。自治会推薦で専門部員として協力いただいているが、積極的に地域の住民の方でやりたい方に呼びかけていく必要がある。そのためには、専門部の活動を紹介していくことが大事。今年度は活動紹介をパネルで発表する。

今般のサークル会員の高齢化・減少はやむを得ない。シニアの方も充実した毎日が送れるような場を提供することが大事。青壮年世代、特に20～30代の利用がほとんどいない。現役なので仕事で忙しいが、土日に顔を出すようになれば良い。公民館まつりが公民館の紹介のきっかけになれば良い。

続いて

○公民館まつりの概要を説明。コロナ感染防止対策は、去年の文化展と同様に行っていく。今回は模擬店は行わず、密になり過ぎないように少しでも多くの方に足を運んでいただきたい。

### (4) 第31回大沼子どもまつりについて

○今年は子どもを集めて実施したい。ねらいは、地域で世代を超えて育成が出来たらと考えている。一昨年は、小中学校全員に子どもまつりの歴史を振り返る内容のかわら版をA3両面カラーで配布。子どもまつりを忘れないでほしいと願いを込めて作成した。去年は小中学校に「子どもまつり行うとしたらどんな子どもまつりにしたいですか」というアンケートを実施した。公民館に持参してもらったが、提出率は高くなかった。アンケート結果をまとめて、小中学校にフィードバックした。

そのアンケート結果を踏まえて、今年度は、青少年部が中心となって話し合い、骨格を決めた。9月末にスタッフ募集のチラシを小中学校に配布する。子

どもにスタッフとして参加してもらい、大人と一緒に運営していく。模擬店は行わず、発表も観客がなかなか多く集まらないので、遊びコーナー中心で行う。内容は、今までの子どもまつりで実施したもののほか、ボトルキャップカーリングや今年初めて行うドリームハウス、発表は難しいが、展示として、大沼華道クラブの作品展示ができるのではないかと提案があったのでご意見を伺いたい。

また、11月に参加者募集のチラシを配布する予定なので協力をお願いしたい。今までだと述べ2,000人規模の参加があったが、全部で80人程度に限定し、事前申込みとする。60分入れ替え制とし、参加者は時間ごとに20人とする。スポレク事業のように各専門部には協力の人数をお願いしようと考えている。ポイントによって景品がもらえるようにし、子どもスタッフが活躍することを期待したい。集まってくれる子どもたちには学年を超えて楽しんでほしい。

○現在、大沼小には華道クラブはないと思う。以前はあったかもしれないが、確認してみます。コロナでクラブ活動自体が難しいので、昔ほど活動していない。

○華道クラブはないです。

○この2年でなくなった？

○令和元年度に子どもまつりで華道クラブを担当していた。ここに展示と入れたのは普段華道部は稽古をしていても皆さんに見ていただく機会がないので、子どもまつりで多くの方にみていただくことで子ども達の張り合いにもなると思った。とてもいい機会になると、華道を指導していた先生も言っていた。前日から準備したり、当日には質問されたり、コミュニケーションを取りながら、わさわさした中でちょっとひとときの静寂なときとなった。令和元年度は、人数がすくなく20名ぐらい。机を3つ使用。それを3箇所あれば足りるぐらいだった。他のクラブに入れなかった子が華道というパターンと先生が言っていた。

○2階でやっていたのが印象的だった。展示などでこういうことができるというアイデアがあれば、教えていただけるとうれしい。

○学校と連絡を取り合いながら行ってください。

○ドリームハウスとは何ですか？

○今までお化け屋敷を行っていたが、密になる・換気ができないという問題でできない。ドリームハウスは、華やかに飾ったようなイベントコーナーを明るく楽しんで回る催しで、おばけ屋敷にかわるようなものと考えている。

○キティちゃんのお部屋のような、テイストが違う3つのお部屋を作って、回っていくうちにうきうきするようなお部屋を作ってみたらどうだろうという意

見があり、計画した。

○昨年度にアンケート行った結果、回収率が悪かったとのこと。公民館の前を通る子どもはちょっと寄ってみようと思うかもしれないが、わざわざ公民館に行こうとはならないのかもしれない。チラシを見て、公民館に持っていくならいいやと思ってしまうのかもしれない。学校に提出しても良いというようにして、育成協の担当者に持っていくようにしたら、もう少し集まったかもしれない。

○各校に集配ボックスのようなものを置いたらとの意見もあったが、公民館に持って来てまでやりたいという意欲みたいなものが欲しかったので、公民館に提出とした。もう少し検討が必要だった。

○スタッフ募集のチラシも、学校で配布し、回収も学校で良いということであれば、参加者も増えるのではないかと思う。ただ、今回は先着順なので難しい。

○公民館から遠い学校は、不利になるので申し訳ない。

○感じただけだが、今年度は発表がないと決まっているが、子どもまつりでなくなっているのと同じで、習い事や学校でも発表する場がなくなっている。人の前で何かをすることが前より減っている。もし、ここだけでも発表の場を作ってもらえたらうれしいなと思う。

○以前は、音楽クラブやソロで歌う子どもがいて、とても素晴らしかった。コロナ禍の中で聞きに来てくれる人の人数が多すぎると不安である。可能性があるようならもう少し検討したい。

○子ども達の発表の場が少ないとのことでしたが、今流行の例えばストリートピアノみたいな自由に弾けることができればと思う。難しいと思うが、ピアノをやっている子どもが、自由にお友達と一緒に歌ったりできればいいと思った。

○いいかと思えます。

○今後、反映させたい意見かと思えます。

○今後に向けて検討していただきたい。

#### (5) 視察研修について

館長より説明。

運営協議会及び視察研修はコロナの前は毎年行っていたが、コロナで3年間実施していない。改めて交流・学びの場として、公民館の運営協議会、専門部の視察研修が必要だと思っている。まずは近場の公民館または公共施設を訪問して運営、活動内容を学びたい。

●マイクロバスを借用予定。バス会社に確認し、個人負担が概ね3～4千円くらいであれば実施したいと思う。候補日は2月で、事業をさけて実施したい。人数は20人くらい。

○視察研修は今のところやる方向。遠くではなく、身近な公共施設を候補としたい。具体的な希望があれば言っていただきたい。

●相手があることなので、希望に添えないこともあるかもしれない。

○希望があれば公民館まで。

#### [情報提供・交換]

○情報提供・交換があればお願いします。

○前回代理の者が出席して話しを聞いたが、連絡所の空きスペースその後どうなったのか知りたい。

●基本的に公民館事業の物品の収納スペースと専門部が少人数の会議で使えるようなスペースで利用。将来的には地域住民のフリースペースなどの利用も検討していくが、防犯・保安面や利用者のトラブルや事故などの対応のために、管理者の配置など対策が必要である。

○前回の会議の話聞いてPTAでどう思うか聞いた。放課後に子どもが自由に行けて、地域の方が勉強を教えてもらえたらうれしいとの意見だった。

●地域のボランティアで教えてくれる方がいたら教えてほしい。例えば、水曜日の午後來ていただけるかなど。

○高齢者のことで、民生委員の方から市の状況を説明させていただきたい。9月に敬老事業があつが、市のお祝い金が今年度から予算が削られてお渡しできないということになった。ただし、地区で用意して、民生委員が配布している。従来だと対象者に個別に渡しに行くがコロナ禍ということで、ここ2年は市のガイドラインに沿ってポスティングをしている。大野中地区は80歳以上の方が6400人おり、73人の民生委員がポスティングしている。

見守りが必要な高齢者も、家族から止められるなど個別に訪問できない状況である。高齢者の見守りがそのようになっているので、みなさんにお知らせしたい。

民生委員は児童委員も兼ねており、今回改選（3年1期）である。コロナ禍のため、特に小学校の校長先生への紹介を3年やっていない。12月から民生委員が代わるので、コロナの状況をみながら、自己紹介ができる場を設けてほしい。

以 上

## 大沼公民館運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	佐藤 純	大沼公民館館長	会 長	出席
2	細川 裕司	大沼小学校校長		出席
3	福田 雅一	若松小学校校長	会計監査	出席
4	前山 幸一	大野台中学校校長		出席
5	高田 祥次	自治会法人大沼自治会会長	副会長 (議長)	出席
6	古川 義雄	若沼自治会会長		欠席
7	萩生田 秀利	西大沼中央自治会会長		欠席
8	森本 麻理	大沼小学校 PTA 会長		出席
9	野村 光平	大野中地区老人会連合会副会長		出席
10	倉部 慎一	大野中地区球技連盟副理事長		欠席
11	加藤 美夜子	大沼地区青少年健全育成協議会代表		出席
12	上田 照子	大沼公民館利用登録団体連絡会副会長	会 計	出席
13	堤 道子	大野中地区民生委員・児童委員協議会会長		出席
14	五十嵐 弘美	大沼保育園園長		出席
15	高木 香代	大沼地域包括支援センター		欠席
16	渡瀬 美津子	公募委員		出席
17	市川 裕子	大沼地区スポーツ推進委員		欠席
18	大木 英史	大沼公民館体育部副部長		出席
19	廣田 幸一	大沼公民館文化部部長		出席
20	山本 達郎	大沼公民館青少年部部長		出席
21	松尾 景子	大沼公民館広報部部長		出席